

## ミュージカル「舞台に立ちたい」

小劇場なので、緞帳は想定していない。

舞台の間口は二間半。演技エリアの奥行きは三間。舞台の上には回転式カウンターチェアが3脚。カウンターチェアの背後には、それぞれの役の小道具入れも兼ねる行灯（あんどん）仕立てのパネルが3つ立っている。キャストはパネルの間を通過して登退場する。

本ベル（音楽）が鳴り、客電が落ち、パネルに灯がはいる。

### 第一場「プロローグ」

M1「いつも笑顔で」

M1の演奏が始まり、パネルの間より三人のキャストが登場。それぞれのチェアに座る。中央はみゆき、下手はいつみ、上手がナナ。

みゆき

明日 目が醒めたら 心に決めよう  
いつも笑顔で生きよう

ゆうべ傷ついても 水に流して  
今日は笑顔で生きよう

（コーラス）フ

フ

いつみ

うまくいかないことも あるけれど  
泣きたいだけ泣いたら

ナナ

明日は今日と違う 何かが起こる

三人

明日 朝が来たら そつと誓おう  
いつも笑顔で生きよう

ゆうべあきらめても それはきのう  
今日は笑顔で生きよう

みゆき

愛した人を亡くした時

ナナ

夢が壊れた時

いづみ

喧嘩して今は あやまれずにいても

三人

明日 目が醒めたら 心に決めよう

みゆき

いつも笑顔で生きよう

みゆき

いつも笑顔で生きよう

(コーラス) フ

M1終了して、M1Aへ。音楽なかで三人の自己紹介。

### M1A「自己紹介 (BGM)」

みゆき

私といづみとナナは、一番気の合う友達同士でした。明るくて楽天的な  
いづみ。ナナは、いつも私に何かを気づかせてくれました。三人が初め  
て出逢ったのは、今からもう10年以上も前のことです。必死で親を説得  
して、この道を目指し始めた頃でした。歌ったり踊ったりすることを目  
標に、東京で一人暮らしをするのは、とても勇気が必要でした。自信が  
ないことを誰かに見破られるのではないかと、いつもビクビクしていた、  
あの頃の私。毎朝7時に部屋を飛び出して稽古場へ向かい、アルバイト  
を終えてアパートに戻ると、すでに夜中。疲れ果てて自分の部屋にたど  
り着くと、部屋のドアには、家賃の滞納を告げる大家さんの張り紙がペ  
タリ。私の夢はただ一つ。舞台上に立ちたい。その夢があったからこそ、  
やってこれたのです。稽古場は、髪の毛をひつつめた世間知らずの女の  
子たちでいっぱいでした。そろいの黒のレオタードに、ピンクのバレエ  
シューズ。レオタードの胸には、四角く自分の名前を縫い付けていまし  
た。先生方は、その名前を読まなければ、私たちを見分けることは出来  
なかつたでしょう。長い時間をかけて、私たちはようやく自分に似合う  
ヘアースタイルを決め、ヘアースタイルに合った人生を決めたのです。

いづみ

みゆきは優等生でした。ナナは天才。私は、クラスの落ちこぼれ。先生  
から褒められるのはいつも二人で、私は、怒られてばかりいました。

ナナ

私たち三人はいつも集まって、舞台のことや将来の夢、誰にも知られた  
くない秘密について話し合いました。

いづみ

バラしちやいやよ。

ナナ

三人とも性格は全然違うのに、なぜか気が合ったのです。お互いの足り  
ないところを補うように、神様がつかわしてくれたのかもしれない。

なんととっても、私たちは、同じ夢を持っていました。

いづみ

だけど男性の好みは、バラバラだったのです。

M1A終了して、M2へ。

## M 2 「舞台に立ちたい」

みゆき いつの間にか 決めていた  
ナナ これだけを 追いかけてた  
いづみ なぜかしら 知らないけど  
三人 私の心の夢

ナナ いつの日にか 分かるでしょう

いづみ 輝く光の中

みゆき 本当の私がいる

三人 ずっとずっと夢見てた

三人 「夢見た日は去りゆくとも

ただひたすら求めた日々

それだけを願ってた

私の夢 舞台に立ちたい

後奏で音楽、高鳴り、舞台は赤に染まる。三人は互いに見つめ合っ  
て笑顔。M 2 終了し、音楽はM 2 A へ。

## M 2 A 「出逢った頃 (BGM)」

軽快なテンポの明るい音楽。照明変化。出逢った若い頃の三人。

いづみ ねえ。私たちは同じ電車に乗っているのよ。約束して。一人で勝手に降  
りちゃダメよ。

三人はカウンターチェアから降りて舞台前へ進み、会話する。

ナナ 降らないわ。結婚しても？

いづみ もちろんよ。みゆきは？

みゆき ウーン・・・分からないわね、先のことは。でも、いい舞台がやりたい。

いづみ 私も！ いい舞台がやりたい！

ナナ (いづみに) いい舞台を、あなたがダメにしちゃうかもね。

いづみ やっぱり!?

ナナ 先生が言ってた。一度舞台上で失敗したら、仕事は来ないってよ。

みゆきと いづみ 本当に!?

ナナ 先生がそうだったんだって。どんな役がやりたい？

いづみ 私？ ヒロイン！

ナナ 聞くんじゃないかった。みゆきは？

みゆき ウーン……。

ナナ 思いついたらメールして。

いづみ (ナナに) あなたはどんな役がやりたいのよ。

ナナ 私にしか出来ない役！

いづみ かつこいい。どんな役がナナにしか出来ないの？

ナナ それを探してるのよ。いつか見つけるわ。

いづみ 私は、どんな役でもやってみたい。どんな役でも、私なりにやればい  
と思うの。

ナナ じゃあ、みんなバカみたいになっちゃうじゃん。

いづみ なんでよ！

みゆき とにかく！ そのためには努力すること。レッスンが大事よ。

ナナ そうね。先生が言ってた。若いうちにレッスンをさぼっていると、老ける

の早いつてよ。

みゆきと いづみ 本当に!?

ナナ 先生がそうだったんだって。

スローな音楽に変化。照明、暗くなる。三人はチェアーに戻る。

みゆき

どんな役がやりたいのか、考えたことはありませんでした。どんな役でも素敵に思えたその頃。どんな魚を捕まえるかと想像するより、海に飛び込んで泳げるかどうかで、頭はいっぱいだったのです。初舞台の思い出は、心臓が口から飛び出すほどの緊張感。とにかく間違えないように、失敗しないように、ちゃんとやる事が出来るかどうかで、必死でした。

いづみ

ナナ 季節はずれの台風で、劇場の外はどしゃぶりの雨。(雷と雨の【SE】と照明)でも、楽屋の中はそれ以上の嵐でした。

全員、チェアーを反転させて後ろ向きに。M2A終了。

## 第二場「初舞台」

照明変化。初舞台の日の楽屋。本番直前の緊張感の中で。

ナナが立ち上がり、チェアーをひと回りしてチェアーに戻る。

いづみ

(楽屋に帰ってきたナナを見て) トイレ混んでは？

ナナ

行列。

いづみ  
みゆき  
いづみ  
ナナ  
いづみ  
みゆき  
ナナ  
みゆき

いやだ、どうしよう。本番何分前？  
もう始まるわよ。  
いやーん。並んでる？  
隣のビルに行った方が早いわ。  
どうしよう！  
（ナナに）早替わりの衣裳、ちゃんとスタンバイした？  
したと思うけど。  
忘れてたら大変。確認しよう。

みゆきとナナは、自分のパネルの小道具入れから付帳か台本を取り出し、ページをめくりながら確認作業を行う。

みゆき

一幕三景「貴方に夢中」

ナナ

ピンクのタコ足、リボン、頭飾り。

みゆき

日傘、タップシューズ、キラキラ星、下手の早替わり部屋。

ナナ

用意したわ。

みゆき

ワイヤレスは7番。

いづみ

（後ろを向いて化粧しながら）どうしよう！

みゆき

一幕四景「ダンシング・イン・ザ・ダーク」赤いドレス、羽根飾り、ベ

ーハイ、上手のホリ裏。

ナナ

OK。

いづみ

（後ろを向いて化粧しながら）どうしよう！

みゆき

一幕八景「ニュー・バンド・ワゴン」黄色のダルマ、網タイツ、シルク

ナナ

大丈夫。

みゆき

いづみ。

いづみ

何よ。

みゆき

あんたステッキ大丈夫？

いづみ

ステッキ？

みゆき

ゲネプロでスタンバイ忘れたでしょ。ちゃんと置いてきた？

いづみ

なんの曲だっけ？

みゆき

「プリティ・ガール」よ。みんながステッキ持つところで、あんた

いづみ

だけスリッパ持つてて怒られたでしょ？

みゆき

ああ・・・置いてきたと思うけど・・・い、いえ、置いてきたわ。

いづみ

下手に置いた？

みゆき

下手ってどっち？

いづみ

楽屋出て右よ。

みゆき

トイレのある方でしょ？

いづみ

トイレは両方あるのよ。

みゆき

いやーん！



いづみ ステッキ置いてあったわ。(自分のチェアに座ろうとする)  
いづみ 悪いけど変更があるの。

いづみ (異常に驚く) 変更——っ!!

みゆき (うんざりして早口になる) 「貴方に夢中」の歌詞さ、3番とも全部「あなたの愛を」で統一するからね。

いづみ (異常に驚く) ええ——っ!! (バタバタ動く)

みゆき (爆発寸前) 分かったわね、お願いよ。

いづみ どうしてこんなドタンバに変更すんのよ!!

みゆき (ちらとナナを見る) 仕方ないのよ。

いづみ 覚えられないわよ! そんな急に言われても!

みゆき 簡単になったんだからいいじゃないの! 全部「あなたの愛を」って歌えばいいの! 覚えたでしょ!

いづみ

みゆき 覚えられない! 振りはどうすんのよ! 「あなたの愛を」は前を指さして「あなたの」って言うのよ。「私の夢」は手を胸に置いて「私の」よ。手を胸に置いて「あなたの」って歌うの!?

いづみ

みゆき 歌えるじゃないよ!  
ええ——っ!! 合わせなきゃ無理よ! 合わせなきゃ覚えられないわっ! (地団駄)

三人、アカペラで歌と振りを確認。

三人

貴方に夢中 素敵な

貴方に夢中 ホールド・ミー・タイト

私が好き ほんとに

貴方の手で 踊るの

今夜たしかめたい

「あなたの愛を——」!

いづみ やっぱりヘンよ。

みゆき もう決めたの。変更はなしよ!

【SE】上演開始を告げるベル(ブザー)。緊張する三人。ナナはコーヒーを入れた紙コップを手に持つ(中身は入れない)。

みゆき (唾を飲んで) 時間だわ。行くわよ。用意はいい?

いづみ (みゆきの耳元で) トイレに行く暇ある?

みゆき もう我慢しなさい。

いづみ (みゆきの耳元で) うそ。

みゆき 今ベルが聞こえたでしょ。あと2分で始まるのよ。トイレのことはいっ

たん忘れてちようだい。

いづみ (みゆきの耳元で) 忘れられないわ。

みゆき (爆発する) 今から行つてちゃ間に合わないのよ!

ナナ (みゆきの剣幕に思わずのけぞって)・・・あっ!

いづみ・・・どうしたの?

ナナ 衣裳にコーヒーこぼしちゃった。白い衣裳のまたのところにコーヒーこ

ぼしちゃった。(泣き始める) もう出られないわ、私・・・!!

みゆき (いづみに) ティッシュ取って!

いづみ はい! (みゆきにティッシュの箱を渡す)

みゆきはナナを後ろ向きに立たせ、懸命にシミを拭く。

みゆき (拭きながら) 大丈夫よ。こうやって拭けば、目立たないわ。

ナナ (泣きながら) どうしよう。彼が見に来てんのよ。みんなで白い衣裳で、

私だけまたのところにシミだなんて。

ほら。きれいになったわ。どう? もう目立たないでしょ。

みゆき (涙を拭きながら) ほんと?・・・分からない?

いづみ (顔を近づけて)・・・じつと見れば分かるわね。

ナナは声を上げて泣く。みゆきはいづみを突き飛ばして。

みゆき この人は踊つてんのよ! またばかりじつと見てる人がいるもんです

か! 平気よ。舞台はいろんな色の照明がついてんの。絶対分らない

つて。ねっ。

白い衣裳にシミをつくるなんて!

ナナ (大爆発) だったらハダカで踊ったら!!

二人はみゆきの剣幕に思わず硬直してあとずさり。

いづみ・・・みゆき。落ち着いて。みんな緊張して高ぶつてんの。初めての舞  
台なんだから仕方ないわ。

みゆき・・・私だつてそうよ。私だつて緊張してるの。恐ろしくてガタガタな

のよ。ゆづべはふとんの中で最悪のことまで考えた。歌や踊りを忘れる。

衣裳を間違える。帽子やステッキを落とす。舞台上で転んだあと袖に走り

込んで照明にぶち当たる。観客に笑われ、みんなの前で演出家に怒鳴ら

れる。なんとか寝付いたのは夜中の3時なのに、けさはもう5時前に家

を飛び出して来たの。なぜだか分かる? 万が一劇場に遅刻して迷惑を

かけたらどうしようと思うと、恐くてたまらなかつたからよ。この二年

間、この日を夢見てレッスンして来たのよ。役が決まつてからは、それ

こそ必死で稽古してきた。からだはガタガタ。神経だつてオリンピック



いづみ

ナナ

みゆき  
いづみ

の選手なみに張りつめてる。そんなに頑張つてやって来たのよ！ これだけの思いを！ それだけの努力を！ この二年の情熱を！ 本番の舞台で台無しにすることが出来る!? 勇気を出して！ 自分たちを信じて！ 開き直つてやるしかないでしょう！ そうじゃないっ!?  
・・・素敵。あんた、参議院に立候補したら当選確実よ。みゆきの言う通りだわ。失敗した時は失敗した時よ。  
そうね。私も勇気が出てきた。開き直つてやるわ。さっきの歌詞、変更しなくてもいいよ。  
変更したのよっ!!  
ちよつと待つて！ 舞台の神様におまじない！ 今日の舞台がうまくいきますように！

三人は輪になり、舞台におまじないのキス（投げキスした手を舞台に付ける）。音楽が始まり、三人は慌てて舞台に走つて行く。

### M3 「貴方に夢中」

三人

貴方に夢中 素敵な

貴方に夢中 ホールド・ミー・タイト

私が好き ほんとに

貴方の手で 踊るの

今夜たしかめたい

あなたの愛を———！

貴方に夢中 夢中よ

ホールド・ミー・タイト

三人のダンス。いづみは「あなたの愛を」で振りを間違える。その時三人は「あっ」という顔をするが、踊り続ける。曲終わりで、三人は自分のカウンターチェアーに座つてポーズ。M3終了。すぐにM3Aが始まり、照明変化。

### M3A 「初舞台の思い出（BGM）」

三人、カウンターチェアーにすわつて会話。

いづみ

間違えた！ やっぱり間違えた！

みゆき  
ナナ  
みゆき

もう終わったのよ。  
うまくいった？  
お客さんに聞いて。

三人、笑う。スローな音楽に変化。

みゆき

音楽が始まって踊り出したら、あとは夢中だった。舞台の上のことは、今はよく思い出せないわ。

ナナ

私はひとつだけ覚えてる。出番前の袖で、いづみがぶつぶつしゃべってるの。あんた、何一人でぶつぶつ言ってるのって聞いたたら、「死んだパパとお話してるの」って答えたわ。

みゆき

亡くなったパパと？

いづみ

今は私の守護霊なの。パパは言ったわ。「失敗しても大丈夫。観客はすでにお金を払ってる」って。

みゆき

生きてるって時間だった。学校を出て、OL生活をしてた時に感じた憂鬱な気分とさよならできたような気がしたわ。一日の仕事を終えて、タイムカードを押す時に心によぎったのよ。ああよかった、今日も一日、何も起こらなかった。毎日毎日、ああよかった、今日も一日、何も起こらなかった。私は自分に聞いたの。ねえ。あなたは何も起こらないことを望んでいるの？・・・OK。私は人生を変えるわ。

ナナ

舞台に立ちたかったのは、誰かが私を好きになってくれるかもしれないと思ったから。誰かに好きになってもらえれば、私も自分のことを好きになれるかもしれないって。でも、あの舞台を見ても、誰も私のことなんか、覚えちゃくれなかったと思う。

M3A終了。芝居明かりに照明変化。

### 第三場「オーディション〜黄色いレンガの道」

みゆき

初舞台が終わったあと、私たちを待ち受けていたのは、オーディションでした。

ナナ、楽譜を持って立ち上がり、緊張した表情で舞台前に進む。

ナナ

二百五十三番。

### M3B「オーディション曲（アカペラ）」

ナナは引きつりぎみの笑顔で、オーディションの課題曲をアカペラで歌う。

ナナ

私の願いは  
満腹になること  
おなかいっぱい  
はじけるまで

【SE】不合格の鐘「カーン」。

ナナ

(急に不機嫌な顔になる) 私が何をしでかしたっていうの？

いづみ

(ナナの手をとって)一緒に帰ろう。私も落ちたの。

ナナ

今私、何か気にさわることした？

いづみ

人が多すぎるのよ。五百人も受けに来ていて、役は二つだけだもん。合格するのは演出家の娘と愛人だけなのよ。

みゆき

(チエアーから立ち上がり、前に進んで)私たちは最初の危機に直面しました。仕事がないのです。

いづみ

ねえ、どう思う？ 私の彼が三人に仕事をくれるって言ってるの。

みゆきとナナは驚いていづみを見る。

みゆき

(積極的)どんな仕事!?

いづみ

子供向けのミュージカル。「オズの魔法使い」

ナナ

(否定的)子供向けかあ……。

みゆき

あら、いいじゃない。可愛いわ。

ナナ

あなたの彼ってナニモンよ？

いづみ

舞台の制作助手してるの。ちょうど女性が三人必要だって言うから、売り込んできたのよ。セリフもあるんですって。台本もらってきたわ。

いづみは小道具入れから「オズの魔法使い」の台本を三部取り出し、二人に手渡す。

みゆき

(台本を手に)それで、私たちはどの役なの？

いづみ

私が主人公を助ける東の国の女王さまで、あんなたちは召使いのマンチキン人。

ナナ

なんであなたが女王で私たちがマンチキン人なのよ!

いづみ

あなたの彼はどんな役をくれるっていうの!

みゆき

そうよ。ぜいたく言えないわ。今は仕事が必要なんですもの。

ナナ

オーディションはないの? 私に合ってる役がほかにもあるはずだわ。

いづみ

オーディションしたら私の役がなくなるのよ。それに、これならまた三人一緒に仕事できるわ。

みゆき

やってみましようよ。私たちに仕事くれる人は大事にしなくちゃ。

いづみ

それに、今はなんでも勉強だわ。

みゆき

ほんと？ やってくれる？

いづみ

台本を読んでみたいわ。(台本を開く)

(台本をめくって) ええと、最初は21ページ。私の順番だわ。東の国の女王、前に進み出て言う。「(大袈裟に) 私が東の国の女王です。ようこそ、魔法の国へ!」・・・(台本に目を落とす) 二人のセリフだわ。

みゆきとナナ

(台本を読み、こびとの声で)「ヨウコソ、魔法ノ国へ。」

いづみ

「あなたは、悪い西の国の魔女をやっつけてくれました。」・・・(台本に目を落とす) 二人のセリフよ。

みゆきとナナ

(こびとの声で) ヤッツケタ。ヤッツケタ。

いづみ

「これでこの国にも平和が戻ることでしょ。」

みゆきとナナ

(こびとの声で) ヨカッタナ。ヨカッタナ。

いづみ

「みなさん、お礼を言いなさい。」

みゆきとナナ

(こびとの声で) ウレシーナ。ウレシーナ。

ナナ

やっぱり私のがらと合わないわ。

いづみ

そんなことないわよ。

#### M 4 「黄色いレンガの道」

三人は台本を手に歌い踊る。

いづみ

夢を叶えてくれる

すごい力を持つてる

この世のすべて 愛の奇跡

教えてくれる あなたに

虹の彼方の国

偉大な魔法使い

彼に会うならたった一つ

この道を真っ直ぐに

三人

フォロー・ザ・イエロー・ブリック・ロード

ダウン・ザ・イエロー・ブリック・ロード

どこまでも夢を追って

黄色いレンガの道行こう

星のきらめく道を

間奏。東の国の魔女とマンチキン人に扮して。

いづみ

悩み事があるなら  
みんなに話してごらん  
一人で泣いていることはない  
幸せになれるから

心を感じたなら

この道と決めて行こう  
勇気を持って歩いて行けば  
きっと彼に出会える

三人

フォロー・ザ・イエロー・ブリック・ロード  
ダウン・ザ・イエロー・ブリック・ロード  
どこまでも夢を追って  
黄色いレンガの道行こう  
どんなに険しくても

三人

フォロー・ザ・イエロー・ブリック・ロード  
ダウン・ザ・イエロー・ブリック・ロード  
どこまでも夢を追って  
黄色いレンガの道行こう  
星のきらめく道を

M4終了。照明、シルエット明かりに。三人は舞台中央でいったん輪になり、それぞれのチェアーへ。

## 第四場「憧れ」

### M5「私のスター」

みゆき

私の胸の中で  
私を呼ぶ 遠い声を  
あなたは知っているの  
同じ声を聞いていたの

あなたの歌は聞きたびに  
私を強く揺さぶって  
熱い思いにさせるの  
愛している あなたを

(コーラス)

フ  
フ  
フ  
フ

一人 憧れてた

あなたの歌 そのメロディー

あなたは私のスター

私はただ憧れるだけ

あなたの歌は私に

勇気と愛を教えた

私はあなたに何を

返せばいい 教えて

フ  
フ  
フ  
フ

あなたの歌は聞きたびに

私を強く揺さぶって

熱い思いにさせるの

愛している あなたを

フ  
フ

コーラス

ア

みゆき

あなたは私の

あなたは私のスター

ア

ア

M5終了。続いてM5A。

### M5A「恋人 (BGM)」

音楽 (BGM) のなかで、三人、チェアに座って会話。

みゆき

初めて憧れた人は歌手だった。歌が好きになったのも、その人の影響。

いづみ

身近な人を好きになったのは、ずっとあとになってからでした。

ナナ

みゆきには、長い間つきあっていた恋人がいました。

みゆき

絶対結婚するだろうって、思っていたわ。

ナナ

その頃はまだ若かったし、やりたいことがありました。時期が来れば、

ナナ

自然とそうなればいいと思っていたのです。

ナナ

私とみゆきは、男性に関してはオクテでした。

みゆき

真面目だもん。

ナナ

誰かと違うから。

いづみ

何よ、その言い方。

ナナ

これは言っとかなければならないわ。いづみは恋の天才です。男性と二時間一緒にいると、恋に落ちることが出来るのでした。

いづみ

少しオーバーよ。

みゆき

(笑い)でも季節が変われば、新しい人ときあっていたわ。

ナナ

初舞台から2年ほどたつと、私たちは地方のステージに出演することが多くなりました。何ヶ月も東京を留守にするので、帰ってくるのと、彼に新しい女が出来ていることもありました。三人一緒に、地方のホテルのショーに出演した時のことです。東京の彼から、二週間以上も連絡がなくて、私はイライラのしどおしでした。

みゆきといづみ

ああー。(思い出して、そうだったとうなづく)

ナナ

ごめん。一日の舞台が終わりホテルの部屋に戻ると、よく二人にあたったものです。

M5A終了。

## 第五場 「地方のホテル」

照明は芝居明かりに変化。夜遅く。ナナ、舞台前に進み、ホテルの部屋の窓を開ける動き(動作のみで、窓はない)。【SE】窓を開ける音。海辺の部屋で、海の波の音が聞こえる。

ナナ

(海を見ながら) あー疲れた。早く東京へ帰りたいなー!

ナナ、窓を閉める動き。【SE】窓を閉める音。波の音消える。

みゆきはシートを敷いてストレッチ。いづみは風呂上がりで、床に座って髪を乾かしたり顔をいじったり(化粧道具などを使用)。

みゆき

ナナ。疲れたって言葉は言っちゃダメ。まわりを不愉快にさせるわ。絶対に言わないで。

ナナ

ごめん。言いたいけど言わないわ。でも、私たち朝の10時から踊ってんのよ! 今何時?

いづみ

午後10時8分30秒。

ナナ

ずっとホテルにカンヅメになってさ! ねえ、本当に一日スリー・ステージの契約だった?

いづみ

ナナ

みゆき

ナナ

いづみ

こつち来て聞いたの。  
それに休日もないなんて。  
その分毎日練習出来ると思いなさい。  
思いにくいわよ。

ナナ

でも夏にやった仕事よりましよ。あの時も一日スリー・ステージだったけど、熱い中でずっと着ぐるみかぶってたから、仕事終わった時は三人とも胸がぺったんこ。  
彼に会わなきゃ。こんなホテルにあとひと月もこもってたら、私、過去の女になっちゃう。

みゆき

欲求不満なの？ 二か月ぐらい我慢しなさいよ。

ナナ

私が我慢出来ても、彼が我慢しないと思うのよ。

みゆき

(笑って) 大丈夫よ。

ナナ

そら、あなたの彼は大丈夫かもしれないけど、私の彼は目を離してられないの。狙ってる女は20人はいるんだから。

みゆき

(静かに) 私の彼は誰も狙わないって言うの？

いづみ

あら、男はみんなそうよ。ちょっと目を離したら、どつかの巢に飛んで行くんだから。

みゆき

飛ばないわよ。

ナナ

自信あんのね。

みゆき

ええ、飛ばないわ。

ナナ

もし飛んだら？

みゆき

だって飛ばないもの。

いづみ

男は飛ぶわ。

みゆき

あんたたち！ 全然彼のことを信用してないのね。だから彼の方だって遊びでいいんだってことになるわけよ。愛は、信じることでしょ？

ナナ

・・・アーメン。

みゆき

私はね！ 仕事をきちんと、誇りを持ってやろうって言ってるの。

ナナ

誇りが持てりゃ私だってやるわよ。今日見た？ 一番前のお客！

いづみ

あー、「ねーちゃん脱げー」って言った人？

ナナ

ちがう。舞台に足かけて寝てんのよ。一番前の席で！

みゆき

いいじゃないの。眠たいお客さんには眠っていただければ。

いづみ

よく言われる。このショーは寝るのにすつごくいって。

ナナ

それで平気なの？ 自分を尊敬出来ないわ。

みゆき

仕事として割り切れればいいのよ。ショーが退屈なのは私たちだけのせいではないわ。どんな舞台でも、私たちは一生懸命やればいいの。

いづみ

受けるんじゃないかった、こんな仕事。演出家の顔見た時ピーンときたんだ。こいつが演出すりゃ「レ・ミゼ」だって二日と持ちゃしない。

ナナ

演出家のこと悪く言わないで。彼だって頑張ったのよ。

いづみ

ゴメン。あんたの彼だったわね。

ナナ

彼もかわいそうなのよ。私にもらしたわ。今度のショーは予算がなかっ

いづみ

たわ。



ナナ たんで、彼がほんとにやりたかったことは何も出来なかったって。  
みゆき よく言うわ。予算があつたら最初に演出家変えてるわよ。

ナナ 演出家や作品のことは関係ないの。たとえひどい舞台でも、お客さんが  
みゆき 寝てても、私たちは真面目にやらなきゃ。

ナナ 真面目にやってるでしょう！

みゆき やってるかしら？

ナナ これだけ疲れてんのよ。私が真面目じゃなかったら、とつくに手を抜い  
みゆき ておいしいもん食べまくって5キロ太ってるわ。

ナナ ・・・だったらステップ間違えないで踊って。

みゆき ステップ？ 間違えてないわよ。

ナナ (腕組み。溜め息ひとつ) 間違ってたのよ。(いづみを見る)

みゆき (目が合つて) 私も？

ナナ 二人とも。さっき初めて気がついたの。

みゆき 二人とも違つてんの？

ナナ そう。二人とも違つてんの。

みゆき どこ？

ナナ 「ブロードウェイ・リズム」の「そして永遠に」ってとこ。

みゆき いやーん、本当？

いづみ 本当よ。いい加減にしてよ。三人で同じ振りを踊ってるのに、あんた  
みゆき ち二人が同じように間違えてたら、お客さんは私一人が間違つてよう  
に  
みゆき 見るのよ。そんな不条理がある!？ 私は振り付けられた通りに踊つて  
んのに！

いづみ ごめんね。ちゃんと合わせるわ。どこ？

みゆき だから「そして永遠に」よ!!

ナナ そうなのよ。確認しましよ、確認。

みゆき (手を叩きながら) ファイブ、シックス、セブン、エイト!

アカペラで歌い踊り、ナンバーを合わせる三人。

## M5B「ブロードウェイ・リズム(アカペラ)」

三人 ブロードウェイ・リズム

何千の音楽は――

みゆき (中断)ちがーう!! ホラッ!「音楽は」のツー・ステップがないー!

ナナ だからズレちゃうんだわ。「そして永遠に」の「に」でジャン! て行  
みゆき くようになつてんだから!

ナナ ツー・ステップあつた?

みゆき 絶対ありました! 私、覚えてるもん、はつきり!(ステップ踏みなが

いづみ  
みゆき  
ナナ

ら「音楽は」トトンよ、トトン！　これがなきや早く終わっちゃうのよ。  
でも最後は合ってるのよね、なぜか。  
トトンがなきや合いません！　ツー・ステップ入れてやってみて。  
ファイブ、シックス、セブン、エイト！

### M5B「ブロードウェイ・リズム（アカペラ）」

三人

ブロードウェイ・リズム

何千の音楽は——トトン！

そして永遠に——ジャン！

みゆき  
いづみ  
みゆき

そうよ。やれば出来るじゃないの。忘れないで、トトンよ。  
トトンね。分かったわ。（いづみは散らかした小道具を片付ける）  
それから。

ナナ

まだあるの？

みゆき

ええ。「天気之歌」の傘の向きが揃ってないし、コーラスも汚いわ。きよう練習し直したいの。

ナナ

これから!?

みゆき

だってあれは三人の見せ場じゃないの！　出来の悪いものをお客さんに見せたら失礼でしょ。

ナナ

大丈夫よ。みんな寝てるんだから。

みゆき

みんな寝てるわけじゃないわ。

ナナ

だってもう夜の10時よ。疲れてるし、おなかペコペコだし、明日も朝からステージなのよ。

みゆき

だから今夜中にやっとなけりゃならないの。ご飯食べたら稽古着に着替えてステージに集合して。

ナナ

あんた日本代表の監督になった方がいいわ。

みゆき

今日、ホテルの支配人に言われたのよ。私たちはとても熱心で優秀だから、次の機会にはもっといい役で、いいギャラで使いたいって。

いづみ

支配人……！

みゆき

だからね、頑張りましょう！

いづみ

私……今夜はちよつとまずいな。約束があつたの。

みゆき

約束？

いづみ

ええ……支配人に呼ばれてたの。今夜事務所に来てくれって。

みゆき

支配人に？……呼ばれた？

ナナ

なんであんただけ呼ばれたの？

いづみ

さあ……あの、多分、あやまるつもりなのよ。

みゆき

あやまる？

ナナ  
みゆき  
いづみ

なんで支配人があんたにあやまるの？

いづみ・・・なんかあつたの？ ハッキリ言いなさいよ。  
それが・・・あの・・・おとこの夜ね。呼び出されたのよ。支配人に。  
何か、話があるから、事務所に来てくれて。すぐく真剣な様子で言う  
から、私、心配して行つてみたの。彼、誰もいない事務所に一人で座つ  
てた。何か悲しそうな顔して。私、かわいそうな男の人見ると、助けて  
あげたくなくなるくせがあるでしょ？

みゆき  
いづみ

悪いくせだわ。

で、彼に「ねえ。どうしたの？ 何か悩み事でもあるなら、私に言つて  
ちようだい」って言つたのよ。そしたら、彼、僕には悩みがあるんだつ  
て言うの。私、悩みを聞いてあげたわ。彼、もう長い間単身赴任で、奥  
さんには愛されていないし、子供には無視されるし、頭は薄くなるし、人  
生いいことがないって泣き始めたのよ。

ナナ  
いづみ

泣き始めたア!?

そうなの。僕は単身赴任の孤独なハゲだつて。

ナナ  
みゆき  
いづみ

笑っちゃうわ!

で、どうしたの、いづみ。

彼、この悩みを晴らしてくれるのは君しかいないって、いきなり唇を奪  
われたわ。

みゆき  
いづみ

なんですつて!

彼、私を抱きしめてきた。熱い息がかかってきた。私、ハッキリ言つて  
やったのよ。

ナナ  
いづみ

言つてやれ、言つてやれ!

ねえ、支配人さん、私、最初のデートですべてを許してはいけないって、  
ママに言われてるんだけど。

ナナ  
いづみ

馬鹿なの？

ちゃんと言つてやったの。そしたら彼、「僕は、これが最後のデートの  
つもりなんだ」って言うの。頭いいと思わない？ 私、困っちゃつたわ。  
男はみんなあんたより頭いいのよ。

ナナ  
いづみ

だんだん面白くなつてきた。(そばへ寄る)

みゆき  
いづみ

困つてるうちに気がついたら、胸まで許してたわ。

いづみ!!  
私だつて抵抗したの！ ちようどその時、事務所のラジオから音楽が流  
れてきたの。「踊るポンポコリン」だつたわ。私、彼を押しとどめて言  
つたの。ねえ、あなた。今、私を抱いたら、私たちの思い出の曲は、「踊  
るポンポコリン」になつてしまうのよつて。あなたそれでもかまわない  
つて。

ナナ  
いづみ

この人なりには考えたのよ。

彼、突然長椅子に私を押し倒して飛びかかってきた！ 男の人の力つて  
強いのね。私、てっきり支配人ておとなしい人だと思つてたのに。人は

みゆき  
ナナ  
いづみ

見かけによらないわ。気をつけましょ。  
あんたが気をつけなさい！  
で、最後まで許しちゃったの？

いえ。彼、飛びかかった瞬間に長椅子の角に頭ぶつけて気絶しちゃった  
のよ。目の上から血がピューッと吹き出したわ。私、びっくりしちゃっ  
て！ 世の中がひっくり返ったようだったわ。慌てて救急車呼んだの。  
5針縫ったわ。

みゆき  
いづみ

ああ！ それで今日は変な帽子かぶってたんだ！  
けさ、部屋に電話がかかってきたわ。おとといの埋め合わせをしたいっ  
て。ショーが終わったら、食事でもしようって。

みゆき  
ナナ

（立ち上がり）行かなくていいわ。私が代わりに行ってくる。  
あんたが行くの!?

みゆき  
ナナ

ええ。じっくりハゲの悩みを聞いてやるわ。今夜は練習は中止にしまし  
よう。二人は先に休んでいいわ。  
やった、ラッキー！（いづみに）恩にきるわ！  
あのスケベ親父め。みてらっしゃい。

いづみ  
ナナ

みゆきは小道具を片付け舞台奥のチェアへ。

それで、この話はその後どうなったの？  
支配人はみゆきにも迫ってきたんだって。ホテルの庭で抱きついてきた  
から、そのままプールに突き落とされたんですって。

## 第六場 「フレンズ」

### M 6 「フレンズ」

ナナ

黙っていても

その気持ち分かってしまう

傷ついているでしょう

嘘ついているでしょう

愛しているでしょう

友達ならすぐ

あなたのこと見抜いてしまう

今日は違うでしょう

誰かがあなたを

待っているでしょう

一人じゃ夜がつらくても  
二人ならすぐに気が変わる だから  
今はあなたの部屋にいて  
あなたの涙乾かしてあげるわ

(コーラス)

フレンズ  
フレンズ  
チュルルル  
チュルルル

明日はきつと晴れになる  
だから今夜だけ私を呼んで

あなたと旅に行けば

トウ・トウ  
トウ・トウ

行く先々の町で  
励ましてあげる  
笑わしてあげる  
おこつてあげる

一人じゃ旅もつまらない  
一緒なら喜劇に変わる きつと  
今はあなたのそばにいて  
見えない道を照らしてあげるわ

フレンズ  
フレンズ  
チュルルル  
チュルルル

知らない町で迷ったら  
すぐに声かけて私を呼んで

三人  
フレンズ 今はあなたのそばにいて  
あなたの涙乾かしてあげるわ

チュルルル  
チュルルル

ナナ  
明日はきつと晴れになる  
だから今夜だけ私を呼んで

三人  
シャララ シャララ シャラララ  
ドウビ ドウワ シャラララ

M 6 終了。 M 6 A の中でいづみのモノローグ。

### M 6 A 「いづみのモノローグ」

いづみ

私は出来が悪かったので、いつも二人に迷惑のかげどおしでした。死んでお詫びをしようと思ったこともあります。舞台をやめて何か別のこと

第七場 「地方公演のあとで」

をやったらいんじゃないかって。でも、ほかに何が出来るかと考えた  
ら、何も無いのです。舞台に立っている時が、やっぱり一番幸せなの  
です。私は、劇場が大好きです。小さい頃、パパに連れて行ってもらっ  
た劇場のロビーや客席。幕が上がったあとの魔法の世界。音楽とダンス。  
だから、これからも舞台の仕事が続けて行けたらなって思います。舞  
台の神様がそうしていいと許してくれるなら、おばあさんになるまで。

M 6 A 終了。照明は芝居明かりに変化。ナナが泣き出す。

ナナ

(チエアーに後ろ向きに座り、声に出して泣く)

いづみ

・・・どうしたの？

みゆき

悲しい時には泣かせてあげなさい。旅に行ってる間に、彼に別の女が  
きたんですって。二度と地方公演には行かないって泣いてんのよ。

いづみ

ナナ・・・。ねえ。男なんて沢山いるわ。またすぐにいい人が見つかる  
わよ。

ナナ

私はあんたとは違うの。次から次に恋は出来ないのよ。

いづみ

でも、別れがあるから新しい出会いがあるのよ。私だって旅から帰って  
来て、新しい恋人が出来たんだから。

ナナ

・・・ナニ？(いづみを睨む)

みゆき

あんた、こんな時に何を言うのよ。

いづみ

だから、ナナも新しい人を見つけた方がいいのよ。私、紹介してあげよ  
うか？

ナナ

けっこうよ。

いづみ

紹介してあげるわよ。私、うんと素敵な人知ってるから。ねっ。

ナナ

いらぬわよ！

いづみ

気にしないでよ。たかが一回失恋したくらいで。

ナナ

たかが一回失恋した!? 私はゆるい女じゃないの！ あんたみたいに次  
から次にその辺ですれ違った男と恋は出来ないの！ 理想が高いの！  
誇り高い女なのよ！

いづみ

どのくらい高いの？

ナナ

(メチャメチャ) ニューヨークの摩天楼の百三十二階くらい高いの！

みゆき

高い！

いづみ

別れた男の人の思い出を引きずっても、しょうがないでしょう！

ナナ

うるさいわねー！

みゆき

ちよつと、やめなさい！ いづみもなんでそうつつかかるの？

いづみ

ナナ

みゆき

私は早くナナに立ち直ってほしいのよ。  
私はしばらく落ち込んでいたいのよ。

ナナ。あんたもそうムキにならないで。いづみは悪気があるわけじゃないのよ。ただ馬鹿なだけなんだから、許してあげて。

いいわ。許してあげるわよ。でもいづみ、これだけは聞いといて。

みゆき

ナナ

みゆき

やめなさいったら！

ナナは泣きながら上手パネルの背後に退場。

みゆき

いづみ

みゆき

いづみ

ナナ。ナナ。あら、トイレの中にはいつちやった。(いづみに)馬鹿ね！  
こんな時に「私は新しい恋人が出来た」なんて！  
私は、早くナナに別れた彼のことを忘れてほしかったのよ。  
それはそうだけど、今言うことはないじゃないの。  
今言つとかなきゃ困るのよ。私の新しい彼は、ナナが別れた彼なんでも  
ん。

間。みゆきは、口を大きく開けていづみの顔を見る。

みゆき

いづみ

みゆき

いづみ

みゆき

いづみ

みゆき

いづみ

みゆき

いづみ

みゆき

いづみ

みゆき

いづみ

みゆき

いづみ

みゆき

いづみ

みゆき

いづみ

みゆき

(ドスをきかせて)・・・何？

私が望んだんじゃないのよ。彼が望んだの。ナナはひたむきすぎて、荷  
が重いですって。

あんた、冗談で言ってるんじゃないでしょうね。ナナが誇り高き女だっ  
て知ってるでしょ。摩天楼の女なのよ。

だから私も悩んでるのよ。見て。顔色悪いでしょ？  
別に。

ここ一週間ほど、ご飯がおいしくないのよ。  
たくさん食べてたじゃないの！  
だからおいしくないのよ。

(爆発する)どうしてそんなことしたの！ ナナの彼に手を出すなんて！  
私が出したんじゃない！ 私がナナの彼に手を出されたのよ！

同じようなもんよ！ だから約束したじゃない！ 私たち三人は、遅刻  
しない、愚痴は言わない、互いの男に手は出さないって！

あんたたちだって遅刻するし、愚痴ばかり言うくせに！  
もしバレたらどうすんの。ナナがショックを受けて手首でも切ったら？

(震える)ヘンなこと言わないでよ。

いえ、可能性あるわよ。あの子ひたむきな子だもん。死んであんたの背  
後霊になるわ。一生たたるわよ。

どうしよう！ それじゃ私も舌噛みきって死ぬわ。みゆき、そんな時は一  
緒に死んで。

なんで私が死ぬのよ。

ナナがトイレから出てきていづみの背後に立つ。

(背後から) いづみ。

(驚く) キヤ——ッ!!

(泣き腫らした顔で) 私、あきらめがついたわ。(全然ついてない)

(態度変化) その方がいいわ。絶対いいわ。もうスパーツとあきらめちやいなさい、そんな男。

なんか、こうなるんじゃないかなあって思ってたの。最近嘘をつくし、きつとダメになるんじゃないかなあって。

ひどい男よねえ。別れてよかった、そんな男。

縁がなかったのよ。もつといい人と出会えるってことなんだわ。

その通り! そんな男は、どっかのアホな女とくっついてりやいの。

(いづみに) ねっ。

うん。

どこかにおいしいもんでも食べに行きましょう。今夜はいづみがおごってくれるんだって。

ああ・・・ありがとう。いづみ。私のこと心配してくれているのに、ひどいこと言ってゴメンね。

(変な声で) いいのよ。

私、反省したわ。今まで私、一生懸命舞台に打ち込んでなかったんじゃないかって思ったの。そうじゃなかった?

一生懸命やってたわよ!

いいえ! 私、もつと頑張るわ。今は恋愛なんか心奪われている時じゃないから・・・みんなゴメンね。

(泣きながら) ナナ。いつまでも友達でいてちょうだいね。背後霊になっちゃいやよ。

ナナ

やっぱりいい友達よ!(いづみに抱きついて泣く) もういいわ。あんな男、忘れてやる。とびきりいい女になって、見返してやる。私、いろんな舞台に立って、みんなに認められて、うんと幸せになっちゃおう!

みゆき

そうよ! どんな可能性だってあるんだから。頑張らましよう!

ナナ

ああ、切り替えたならやる気が出てきちゃった。今ならどんなことでも出来るような気がしてきた。私だって、出来るわよね!

みゆき

もちろんよ!

ナナ

うん。(ムリヤリ) 分かった。

みゆきは、二人を強引に前向きに持って行く。

みゆき

今の自分に満足しないで、高いところを這って。頑張って行けるところまで行って、私たちは本当にいい人生を歩んだって、胸を張って言えるようになりましょう!



うなづくナナといづみ。三人は手を合わせる。

M7 「手に入れるわ きつと」

ナナ

私 手に入れるわ きつと  
私 手につかむわ

今よりずっと素敵な何かを  
いつかはこの手に入れるわ

みゆき

どんな風になるの 人生  
運命は この手に

今よりもっと高く美しいところへ  
行くわ 私も 行くのよ

いづみ

歩いてく 道はひとつ 夢は  
まだ 彼方に

行く場所は心にあるから  
すべては描いたままに

間奏。ダンス。

三人

私 手に入れるわ きつと  
私 手につかむわ

私 手に入れるわ きつと  
私 手につかむわ

私 手に入れるわ きつと  
私 手につかむわ

今よりずっと素敵な何かを  
いつかはこの手に入れるわ

ア

三人のダンス。曲終わりで三人はそれぞれのカウンターチェアへ上

で回転し、ポーズ。同時にサスが降りて照明カットアウト。M7終了。短い暗転となり、三人はいったんパネル裏へ退場する。

## 第八場 「寝ても醒めても」

### M8 「寝ても醒めても」

イントロ最初の8小節は照明と電飾のショー。9小節目で三人、舞台に登場。横に並んで始まる。

みゆき

舞台が好き  
すべてが好き  
寝ても醒めても

いづみ

楽屋のドア  
幕のかけで  
聞いているメロディー

ナナ

高鳴る胸  
震える足  
それでも分かる

三人

そこが私の生きる場所と  
愛していると

リズム・イン。音楽、軽快なテンポに。

みゆき

幕を上げるオーヴァーチュア―

三人

さあ始まる

いづみ

みんな並んで 発声練習

三人

アアアア アアアア

アアアア アアアア アアアア

ナナ

転換の早替わり

いづみ

歯が痛いのも忘れる

三人

寝ても醒めても夢見る

舞台が好きよ

ナナ 演出家のダメ出しは？  
いづみ 忘れちゃった。  
みゆき トチツたら大変よ。  
ナナ 死ぬまで言われる。

みゆき 歌もダンスもまだまだ  
ナナ ライバルは沢山  
三人 寝ても醒めても夢見る  
舞台が好きよ

間奏、ダンス。

いづみ お姫様にも  
ナナ 王子にも  
三人 猫にもなれる  
みゆき シェイクスピアも  
ナナ アステアも  
三人 同じ仕事

みゆき 最後を飾るのは  
いづみ 豪華な  
三人 ファイナーレ

三人 寝ても醒めても夢見る  
舞台が好きよ

寝ても醒めても夢見る  
舞台が  
舞台が  
舞台が  
好きよ

M8終了。

第九場 「五年後」

## M8A 「五年後（BGM）」

みゆき  
舞台を続けるコツは、風をひかないこと、悪口にめげないこと、親切な  
大家さんに出会うこと。5回目の冬が過ぎ、私たちは、同じだけ年を取  
りました。

三人はそれぞれのカウンターチェアに座り、語る。

いづみ  
舞台は観るのもいいけど、やるのはもつと素敵です。舞台の楽しさは、  
たとえばクリスマスに似ています。本番の日は、私にとっていつもと  
違う特別な日になるのです。クリスマスのように。  
ときめく日ね。

ナナ  
いづみ

ナナ  
私は、なぜ舞台に立ちたいのか、よく考えます。誰かに伝えたいことが  
あるから？ それとも、何かを分かち合いたいから？ 時が過ぎてても私  
は、自分に本当に合ったことを、見つけていないように感じていました。  
シヨ一の仕事で何か月もホテルに閉じ込められて、振り付けられた踊り  
を繰り返しているうちに、毎日自分の中の何かが少しずつ削られて、二  
度と戻ってこないような気がしていたのです。気分がふさいで眠れない  
夜は、ホテルの部屋を出て、誰もいない海岸を一人で散歩しました。夜  
の波にすわって、波の音を聞いて。目をつぶって風を吸い込みながら、  
考えました。私はなぜここにいるのか・・・どこへ行けばいいのか。私  
は、何か別のことをやりだす必要があると感じていました。

M8A終了。そのまま三人はチェアに座って会話する。

みゆき

別のこと？ 別のことって何？

いづみ

シヨ一の仕事、やめるってこと？

ナナ

私、もつと意義のあることをしてみたいの。だから、今月いっぱいこ  
のシヨ一から降りることにする。私、お芝居がやってみたいの。

いづみ

歌や踊りのない・・・芝居？

みゆき

ストレートプレイ・・・？

ナナ

ひよつとして、真面目なやつ？

いづみ

チエーホフとか？

みゆき

何それ？

ナナ

分からない。まだ自分にどんな芝居が合うのか、見つけたわけではない  
のよ。舞台監督が誘ってくれたの。春に東京の小さな劇場でやる芝居に  
出てみないかって。

いづみ どんなストーリーなの？

ナナ 今書いてるんですって。

いづみ すごいじゃない！

ナナ すごいじゃない！  
みゆき、どう思う？ 本格的に芝居の勉強をするいいチャンスだと思うの。二人と一緒に出来ないのは残念だけど。

みゆき 二人と一緒に出来ないのは残念だけど。  
いいのよ。あなたがやってみたいことなら、なんでも可能性を試してみ  
るべきだわ。でも、私たちが今やっていることだって、意義はあると思  
うけど。

ナナ ありがとう・・・みゆきには、そう言われると思ってた。

いづみ なんだ・・・そうなんだ。ナナが降りるなら、私も降りようかな。

みゆき いづみ？

いづみ 私にもひとつ話があるのよ。

ナナ 何？

いづみ チャンスよ。すごいチャンスなの。この間受けたブロードウェイ・ミ  
ュージカルのオーディション。

ナナ 受かったの!?

いづみ 落ちたの。でもそのあと制作の人から電話がかかってきて、アンダー  
スターのオーディションをやってくれないかって頼まれたの。

ナナ 何それ？

いづみ つまり、代役の代役よ。主役のスターが怪我をしたり、アクシデントが  
起こった時に代わりに演じる代役に、またまたアクシデントが起こった  
時に、私が演じるって話。

ナナ いいじゃない！

みゆき でも、二人同時に倒れなきゃ、出番は回って来ないんでしょ？ そんな  
可能性ある？

ナナ あるかもしれない。稽古に出たお弁当にあたって、みんな食中毒になる  
とか。全員入院しちゃって。

みゆき だったらこの人も食べてるわよ。

ナナ でもなぜかこの人だけ元気ってこともあるわよ。そしたら。

いづみ スターよ！（スターのポーズ）

みゆき この人だけ元気で舞台が出来る？ 上演中止だわ。

いづみ そうか。

みゆき もし、二人が元気だったら？

いづみ 舞台に立てない。

みゆき （二人の顔を見て）その仕事、受ける気なの？

いづみ 迷ってるのよ。でもナナがショーを降りるんなら、私も。

みゆき そう・・・そうなの。じゃあ、そうすればいいわ。今まで三人一緒にや  
ってきたけど、所詮は別の人間なんだもの。やりたいことが別々だった

いづみ 仕方ないわね。どうぞ好きなようにやってみればいいわ。

ナナ それ、賛成なの反対なの？

みゆき

・・・賛成してるのよ。

## M8B 「別々の道へ」(BGM)

みゆき

今の私に満足していると思いたくなかった。それが賛成した理由ね。とにかく、三人は別々の仕事を選んだ。今まで同じ夢を見続けてきたけど、それがうまく行かなくなってきたのね。

いづみ

でも、三人の友情がこわれるわけじゃないわ。

ナナ

それはそうよ。ただちよつと離れて、自分を見つめてみたいだけ。

いづみ

私、ナナのお芝居って見てみたいな。ナナはきつと女優に向いてるって思うの。私は女優ってがらじゃないわ。私は代役ってがら。

みゆき

私も、ショーの仕事而降りて新しい生活を始めることにしました。結婚を前提とすることを条件に親を説得して、彼と一緒に暮らすことにしたのです。

みゆきといづみは携帯電話(小道具)で話す。(携帯電話は、カウ  
ンターチェアアの背もたれに取り付けた籠に入れておく)

いづみ

みゆき！ 引っ越しどう？

みゆき

どうやら一段落。でもまだダンボールの山よ。

いづみ

ねえ。今日ナナのお芝居観に行ける？

みゆき

ああ、今日だっけ？

いづみ

そうよ！ 忙しい？

みゆき

行くわ。行かないと一年は口きいてもらえないもの。どうだっけ？

いづみ

チラシもらった。ナナだけ暗い顔して写ってる。ハハハ！

みゆき

ハハハ！ 楽しみ！

みゆきといづみは電話を切り、いったんパネル裏に退場。お出かけ  
用の上着を着て、バッグと花束、差し入れのケーキの箱を持つ。

## 第十場 「自分をさがして」

照明暗くなり、ナナのチェアアにサス。儼然とした表情のナナ。

ナナ

一ヶ月のわけの分からない稽古を経て、私はお芝居の舞台に出演しまし  
た。そこはアダルト映画を上映する映画館の地下にあった小さな小劇場  
で、芝居の題名は「エリカの日曜日」は暗かった」

【SE】水滴が落ちる音。ナナの楽屋を訪ねるいづみとみゆき。

いづみ

(ナナの楽屋にはいる)・・・ナナ。

ナナ

(無然としている)・・・なんだ・・・観に来たの・・・。

いづみ

ええ。・・・みゆきも一緒よ。

みゆき

(楽屋にはいり、笑顔で手を振る)

ナナ

(反応がにぶい)はあ・・・観に来なくてもよかったのに。

みゆき

ナナ・・・。(ナナに花束を渡し)はい、おめでとう。

いづみ

(ケーキの箱を渡し)おめでとう。

ナナ

ああ・・・。

ナナは花束とケーキの箱を受け取り、パネル裏に置く。

ナナ

・・・どのへんに座ってたの？

みゆき

後ろの方よ。出口のあたり。(愛想笑い)

いづみ

座布団が薄くて、腰が痛くなっちゃった。(愛想笑い)

気まずい間。

ナナ

(深い溜め息)・・・どうだった？

いづみ

(一生懸命に)すっごい鮮烈だったわ。びっくりしっちゃった。

みゆき

ほんと。もうひたすらびっくり。よかったわ。

いづみ

ええ、そう、よかった。ね？

みゆき

うん。(愛想笑い)

気まずい間。

ナナ

・・・ひどい芝居でしょ？

いづみ

ああ、そう。難しいわね。ちよつと深刻だし。(愛想笑い)

みゆき

ストーリーがね。ちよつとつかめなかったような・・・。

いづみ

難しいの苦手だから。私、頭悪いから・・・。(愛想笑い)

気まずい間。

ナナ

・・・私もよく分かんないのよ。

みゆき

でもナナはよかったわよ。

いづみ

ええ、ほんと。ナナはよかった。よくあんなにセリフ覚えられるもんよ

みゆき

ほんと。難しいセリフ。

ナナ やっぱりやるんじゃなかった。

いづみ え・・・なんで？

ナナ (攻撃的に) 今日お客さん何人帰った？

みゆきと いづみ えっ？

ナナ きのうもおとといも、途中でお客さんが少なくなるのよ。何人か途中で出で行ったでしょ？

いづみ ええ・・・ほんの四、五人よ。空調が壊れてたからさ、帰ったのは冷え

性で身体が痛くなってきた五人のリウマチ病みだけ。あとはみんな最後まで観てたわ。

ナナ 一ヶ月喧嘩腰で議論して、さんざん怒鳴られて、こんな舞台しか作れないなんて！

いづみ ナナ・・・。

ナナ 終わったらあの演出家殺してやるわ。劇的感動だかメソッドだか知らないけど、毎日怒鳴りまくって、ボロカスこきおろして、「お前の演技は芝居じゃねえ」とか痛めるだけ痛めつけて、私はどうやったらいいのか教えてほしいだけなのにさ！

みゆき ナナ・・・。

ナナ ひと月じーつと耐えて我慢してきたんだ。芝居の世界にはいりこもうと思つて勉強もしたの。スタニスラフスキーの本だつて読んだのよ。

いづみ ・・・・何？

ナナ あんたたち知らないでしょうね。ロシア人の名前よ。

いづみ ごめん。ロシア人の名前はプーチンさんしか知らないの。

ナナ 信じられない。この芝居を何百人かの人は観たのよ。どう思つたんだろう。家に帰つてこう言うの？ 今日観た芝居はひどかったよ。脚本もひどい、演出もひどい、主役の女は最悪でさ、一生忘れられないだろうねえ、なんて名前だっけ？

みゆき ナナ・・・やめなさい。

ナナ 10年くらいたって、私が揺るぎない自信を持ったスターになつても、何百人かは知つてるのよ！ 私、この人の舞台観たことがあるのよ。「エリカの日曜日は暗かった」あれは、本当にひどかったわ！

みゆき ナナ・・・もういいわよ。

ナナ ひどかったでしょ？ 本当のことを言つてよ、友達ならさ。ひどい舞台だったわよね。

みゆき ・・・・ええ・・・本当に、ひどかったわ。

ナナ 帰つてよ。これから飲んで吐くからさ。もう二度とごめんよ。こんな経験は。二度と、二度と、二度とするもんか・・・！

ナナは自分(上手)のカウンターチェアに座り、背を向けて泣く。

みゆき ・・・・じゃあ、私たち帰るわ。あんまり自分を責めないで、ナナ。いい



いづみ

ところもあつたわ。  
じゃあ・・・舞台の神様に。

みゆきといづみはナナに向かって投げキスし、その手を挙げるが、ナナは背を向けたまましばらく動かない。二人が手を降ろした頃、ようやくゆつくりと、力なく手を挙げるナナ。二人は自分のカウンターチェアに座る。照明変化。二人のチェアのサスが明るくなり、背中を向いたままのナナのチェアの照明は暗くなる。みゆきといづみがチェアに座ると同時に【SE】**繁華街の雑踏、自動車の音。**小劇場から駅に向かう帰り道。

いづみ

神様っていじわるだわ。あんなに頑張ったのに。あんな気持ちになるなんて。

みゆき

彼女はトライしたのよ。トライしただけでしょ。

いづみ

ツイてないわ。うまく行く時だってあるのに。ナナ、舞台がきらいになつたかしら？

みゆき

舞台って不思議。人生が変わるぐらい感動する時もあるよ、むなしい気持ちになる時もある・・・ああ、冷えちゃったから、おいしいもんでも食べに行こうか。

いづみ

さんせい。ねえ、彼とうまくいってんの？いつ結婚すんのよ。

みゆき

したくなつたらするわ。

いづみ

うわあー。

## M9 「神様の贈り物」

【SE】**フェイド・アウト。**みゆきといづみ、パネル裏へ退場。二人の照明が暗くなり、ナナのチェアのサスが明るくなる。

ナナ、チェアに座ったまま、ゆつくりと前を向く。

ナナ

何かが出来るはず

こんな私にも

誇れるような

素晴らしいことが

いつか本で読んだ

どんな人でもひとつ

神様からもらった

贈り物がある

そうよ

さがそう 急がないで

私の行く道を

いずれは訪れる

こんな私にも

微笑むような幸せが

あれは映画で観た

悲しい人が最後に

幸せをつかんだ

生きていたから そうよ

さがそう 泣かないで

私の行く道を

M9 終了。続けてM9Aへ。

## M9A 「新しい住所 (BGM)」

みゆき登場して中央のカウンターチェアに座る。ファミレスにて。久々に会ったナナとみゆき。ここはチェアに座って前向きで会話する。

みゆき。

ナナ。

しばらく。元気？

ええ。

彼と、結婚するんだって？

ええ。ようやく。

そう。私も、引越したの。さつき、新しい住所を送ったわ。

ええ。ずいぶん遠くなったのね。

(苦笑い) 家賃が安いし、静かだから。

次のお芝居の予定はあるの？ ナナ。

(つとめて明るく) お芝居は、やめたの。疲れちゃって。今、小説を書いているのよ。

小説？

ええ。彼が出版社の人を知っていて、書いてみないかって。書き上げてよかったら、出版してくれるって。意外だけど、私に向いているような

ナナ  
みゆき  
ナナ  
みゆき  
ナナ  
みゆき  
ナナ  
みゆき  
ナナ  
みゆき  
ナナ  
みゆき

## 第十一場「チャンスの夜」

のよ。今は、作家デビューを目指して、紅茶とお菓子をつまみながら書いてたら、太っちゃって。(笑う)もうダンスは無理ね。それで、悪いんだけど、ちよっとお金を貸してほしいのよ。本を書き上げるまで、しばらくの間、働けないから。ごめんね、みゆき。こんなこと頼めるのは、あなたしかいないのよ。

M9A終了。ナナはパネル奥に退場し、みゆきが残る。

みゆき

いづみにチャンスが訪れたのです。それは突然、空から隕石が落ちて来たように、突然訪れました。

みゆきはカウンターチェアから立ち上がり、携帯電話を手にイライラと歩き回る。芝居明かりになって、いづみの部屋。深夜。酔っ払ったいづみが、鼻歌を歌いながら帰宅する。

みゆき

いづみ！　こんな夜遅くまで、どこで何してたの!?

いづみ

みゆきいー！　飲んだたのよ。いけない？

いづみ

もう11時半よ。

みゆき

まだ11時半？　飲み直してこようかしら。みゆきも一緒に行く？　(みゆきにしなだれかかる)みゆきちゃん。なんでウチに来たの？

いづみ

いくら連絡しても繋がらないからよ。どうして？

みゆき

だって(ウニャウニャ)誰とも話したくない時はあんのよ。

いづみ

もう！　よくこんな日に酔っ払ってられるわね！

みゆき

なんですよ。酔いたい日だってあるのよ。

いづみ

後悔するわよ、本当。

みゆき

もう後悔してるわよ。私・・・やっぱりアンダースタデイ降りるわ。

いづみ

間違えちゃった。アンダースタデイのアンダースタデイ。やっぱりみゆきの言う通りよ。骨折損のくたびれ儲け。今週の日曜日で舞台は終わり。主役も代役もピンピンしてるわ・・・この二ヶ月間、何をしたら知ってる？　セリフも覚えた。歌も踊りも全部完璧に覚えて、あとは毎日劇場に行って主役の楽屋に挨拶に行くの。「おはようございます！」すると向こうが「おはよう。」ちくしよ、今日も元気だって。毎日どつちかが倒れてくれますようにって祈り続けてたら、目つきが悪くなつて誰も寄りつかなくなっちゃったわよ。パパに言われたわ。人の不幸を

待つようなことはやめなさい。私は守護霊だがお前はもはや生き霊にな  
ってるって。明日プロデューサーに話しに行くわ。もうこれ以上出来ま  
せんって。

みゆき 会いに行かなくても、向こうからすっ飛んで来るわ。あんたを必死でさ  
がしてんだから。

いづみ 私を・・・さがしてる？

みゆき ええ。あんたが連絡取れないから、知り合いをさがしまわって私のとこ  
に連絡があつたの。10分おきにかかってくるわ。いづみ、しっかりしな  
さいよ。あんたが不幸を待ってた主役の女優がクルマを運転しててさ、  
電柱に衝突したのよ。可愛い鼻の骨を折って、おでこにテニスボールく  
らいのたんこぶが出来たって。明日、あなたが代わりをするのよ。

いづみ うそ・・・そんな・・・うそよ。

みゆき うそじゃないったら！ こんな大事な時に飲んでたなんて！ ぼけっと

してないで早くプロデューサーに電話してよ。12時過ぎたらあんたを指  
名手配にするって大騒ぎなんだから！

いづみ だって・・・だって！ なんで私なのよ！ アンダースタディがいるじ  
やないの！ 彼女がやるでしょ！

みゆき やれないの。妊娠4ヶ月なんだって。稽古前に分かってただけど、迷  
惑がかかるのを恐れて今日まで言い出せなかつたんだって。あんたしか  
いないの。さあ！ 早くプロデューサーに電話して、私にまかせてくだ  
さいって大見得きりなさい！

いづみ そんな・・・ダメよ・・・私。

みゆき 大丈夫よ。気を楽しにして。なんにも心配することはないわ。セリフも歌  
も踊りも完璧に覚えているんだもの。あとは周りのスタッフとキャストが、  
みんなであなたのことを助けてくれるわ。

いづみ だって！ 衣裳が合わないわよ！ 彼女、すっごいスリムなのよ。私じ  
ゃ合わないわ。やけ酒で3キロ太ったんだもん。

みゆき あなたの衣裳くらい用意してくれるわよ。

いづみ 明日なんて無理よ！ 一度も芝居を合わせたことがないのよ。演出家の  
隣でプロンプしたりしながらすっつと見てただけだもん！

みゆき すっつと見てたんでしょ！

いづみ 休憩時間にお茶の用意をしなくちゃならないから、一幕のラストは見た  
ことないのよ。

みゆき 明日合わせりゃなんとかなるわよ、頭に全部はいつてんだから！  
頭にはいつてないのよ!!

間。みゆき、絶句していづみを見つめる。

みゆき あんた！ 完璧だつて言つたじゃない!!

いづみ (泣き出す) 覚えてないのよ。最初のうちは一生懸命覚えようと思った

みゆき

んだけど、そのうちどうせ出来っこないんだから、どうでもいいやって思っちゃって・・・二幕のセリフは覚えてないのよ。  
この馬鹿!!

みゆきの携帯電話が鳴る。

みゆき  
いづみ

ほーら。電話がかかってきたわ。プロデューサーよ。  
いないって言って。私、また飲みに行くわ。朝まで飲んでへべれけになってやる。なんて馬鹿なんだろう、私って。もう知らないわ。

みゆきが電話に出る。

みゆき

もしもし。はい・・・ええ。まだ帰って来ないんです。でも、さつき本人から連絡があったので伝えておきました・・・ええ。明日は完璧に演じますから、ご心配なくと伝えてくれと頼まれました。はい・・・ええ・・・はい。必ず伝えます。(電話を切る) 明日朝7時から稽古だそうよ。

いづみ

この人でなし。なんでそんなこと言うのよ。

みゆき

覚えてなかったら、今夜寝ないで覚えればいいわ。

いづみ

今夜は酔ってるのよ!

みゆき

だったらさつきとシャワーを浴びて! 台本持つてきなさいよ。相手してあげるから。

いづみ

ひと晩かかったって覚えられないわよ! 頭悪いんだもん!

みゆき

覚えなさい! とにかく勝負はこの一日なのよ。いづみ、誰にだってここが勝負のしどころって時はあるの。あんたは今なのよ!(いづみの手を引つ張つて) さあ!

いづみ

ああん!

みゆきはいづみの手を引つ張つて台本を取つて来させる。

みゆき

(台本を開いて)そこへ立って。まず最初からよ。登場は?

いづみ

主役なんか出来るわけないわよ。私、ヘタなんだもん。経験だつてないし。

みゆき

役の名前は何?

いづみ

あー、ルイザ。きつとがっかりされちゃう。大恥かいて終わり。やらない方がみんなのためよ。

みゆき

ここね。一幕二場。ルイザ、テラスに登場して溜め息をつく。最初のセリフは?

いづみ

「(ぶつきらぼうに)今夜は月がきれい。」ねえ。客席が二千もある劇場なのよ。誰が私を観に来るの、一万円も払つて!

みゆき  
いづみ

もつと気持ち入れて言いなさいよ。

「(少し感情を入れて)今夜は月がきれい。」無理よ。セリフだけで百八十もあるんだから。それにミュージカル・ナンバーが10曲。二ヶ月間どんなにハードな稽古をしたのかずーっと見ていたもの、お茶を入れながら!

みゆき

いづみ、あきらめないで!

いづみ

「(泣きながら) 本当にいい月だ。」

みゆき

「今夜は月がきれい」よ。

いづみ

ああ、「今夜は、月だ。」(顔を抑えて泣き、しゃがみ込む)

みゆきは、いづみに寄り添い。

みゆき

・・・いづみ。落ち着いて。ねえ。落ち着いて考えてみて。なぜこんなことが起こったのか。私、これはあなたの運命だと思うのよ。世の中には、時々思ってもみなかったことが起こるけど、それは偶然ではないのかもしれない。あなたがこの世に産まれたことだって、この広い世界で私たちが出会って、今夜こうしていることだって、きつと偶然じゃない。あとになって考えてみれば、ああ、あれが私の運命だったんだって、そう思えるような気がするの。・・・ナナは今、一生懸命、運命の扉をさがして歩いてる。でもあなたの運命は、今夜扉を開いたのよ。あなたにかかってきたプロデューサーの電話を受けた時、私、そう感じたの。あなたは明日大きな劇場の舞台にのぼる。そして、運命が開けるのよ。あなたの人生よ。・・・さあ。息を吸って、テラスに登場して・・・最初のセリフからよ。

いづみ

「(ぎこちなく) ああ・・・今夜は・・・待って。(気持ちを立て直し、

みゆき

呼吸を整えてやり直す) ああ、今夜は月がきれい。」

いづみ

OK。次のセリフは?

いづみ

「だけど私は、きれいじゃない。」

## M10 「ルイザ」

いづみ

こんな寂しい夜

いづみ

みんな踊りに行く

いづみ

私は一人テラスで溜め息

いづみ

私の名はルイザ

いづみ

臆病なルイザ

いづみ

一人ぼっちがお似合いなのよ

いづみ

恋も出来ないルイザ

ああ ここにいるのよ  
誰か私に気づいて  
この 熱い気持ち  
お月様が知っているだけ

みゆき  
いづみ  
みゆき  
いづみ

(台本を読み) ルイザ! あんたは踊りに行かないの?  
いいの。私は行かないわ。読みたい本があるの!  
そう!  
楽しんできて! 行つてらっしゃい! うんと楽しくね!

みゆき退場。

## 第十二場 「大舞台」

大劇場の舞台。華やかな照明を浴びて歌い踊るいづみ。

いづみ

こんなきれいな夜  
みんな楽しそう  
ところが一人テラスで本を読む

私の名はルイザ  
不器用なルイザ  
男の子たちは見向きもしない  
美人でもないルイザ

ああ だけでもしも  
素敵な彼が私に  
そつと 声をかけて  
君が好きだよと言ったら

きつと 奇跡が起こる  
驚くように変わるわ  
ああ 愛の魔法で  
この町一番の美人に

誰も彼も口を開けて

彼女のあとをついて来るの  
みんな言うわ その名前を  
臆病だった娘が

一人ぼっちのあの子が

ルイザ 知らなかった

彼女がこんなに素敵だとは

ルイザ 彼の言葉で

愛の女神に変わった

ルイザ 愛されたら

誰にだって起こることよ

ルイザ 輝くのよ

愛の魔法で 私も 私も

アアアアアアア・・・！（カデンツァ）

ルイ——ザ！

M 10 終了し、M 10 Aへ。

## M 10 A 「拍手の音」みゆきの涙（BGM）」

いづみ

きつと、それは魔法だったのかもしれませんが。その時、舞台の上にいる私に、音が聞こえてきました。はじめは、パパの声だと思いましたが、そうではありませんでした。それは、劇場をいっぱい埋めた、観客の拍手の音だったのです。

【SE】大劇場の観客の拍手の音。

私の頭の中に、小さい頃、パパに初めて劇場に連れて行ってもらったことがよみがえりました。客席をいっぱい埋めた人たちが、舞台の上に向かって手を叩いているのを見た時、私は聞いたのです。パパ。なぜみんな手を叩いているの？ パパは私に言いました。お客さんたちは、みんな舞台の上にいる人たちを愛したから、手を叩くんだって。

いづみは自分のチェアー（下手）に座る。みゆきとナナも自分のチェアーに座る。みゆきの照明が明るくなる。

みゆき

その日一日、いづみがどんな思いで過ごしたのか、私には分かりませんが、でも、舞台は成功に終わったのです。共演者たちに囲まれて、観客の拍



第十三場「病院にて」

手を受けるいづみを見て、私は涙が止まりませんでした。客席から舞台の上の彼女を見て、彼女が持っていた素晴らしい才能に初めて気がついて、私は泣きました。この日、彼女の人生にふさわしい運命が開かれたのだと、はつきり分かりました。そして二日後、運命は私のところにもやって来て、戸を叩いたのです。

M 10 A 終了。

みゆきの照明（サス）が落ちて、いづみとナナの照明が明るくなる。  
ナナに（携帯）電話をかけるいづみ。

いづみ

もしもし。

ナナ

はい。

いづみ

ナナ？

ナナ

ええ。

いづみ

私よ。ナナ。みゆきのね、彼が交通事故ですって。今、連絡があったの。すぐ病院へ行ってくれる、ナナ？ 私、今日舞台があつて行けないから。怪我は重いのか？  
分からないの。トラックにひかれたって。あの子、来月、挙式なのよ。

ナナ

電話を切って立ち上がるナナ。いづみはパネル裏へ退場。みゆきの

照明が明るくなる。病院。ナナは青ざめた表情で病室のみゆきに近

いづみ

づき、声をかける。

M 10 B 「病院」(BGM)

ナナ

・・・みゆき。

みゆき

なんにも言わなかったのよ。この人。意識不明のまま。なんにも言わな  
いで。何か、言いたかったでしょうに。

ナナ

みゆき。

みゆき

この人、仲のいいお年寄りの夫婦を見ると、うらやましくなるって。仲  
のいいお年寄りの夫婦になりましたよ。約束したのよ。・・・なれ  
なかつたわ。

ナナ

みゆき。（みゆきの肩を抱く）・・・大丈夫？

みゆき

（うなづいて）おかしいわね。今まで私、天国なんて、遠い所にあると

ナナ  
みゆき

思っていたんだけど。  
・・・今は？  
とても、近くに。

## M11 「あなただけを」

イントロでナナはパネル裏へ退場。みゆき一人になる。

みゆき

今夜あなたは空へ旅立つ  
私は一人 病院の部屋  
じつとあなたを見つめているわ  
静かに眠るあなたのそばで

今もすべてが信じられない  
あなたの腕を握っていても  
あなたは急に死んでしまった  
思い出ばかり私にくれて

アイ・ラヴ・ユー 愛していた  
あなたのことを  
アイ・ラヴ・ユー 信じていた  
あなたの愛を あなたの言葉を  
ずっと

二人過ごした懐かしい日々  
ベッドの上に浮かんで消えた  
今もあなたの声が聞こえる  
海に出かけたあの日みたいに

いつものように冗談だよと  
私を抱いて優しく言って  
恥ずかしそうに聞かれた言葉  
やっとなあなたに答えられるわ

アイ・ラヴ・ユー 愛していた  
あなたのことを  
アイ・ラヴ・ユー 夢見ていた  
あなたと生きる 私の未来を  
ずっと ずっと ずっと

M11終了。照明暗くなり、みゆき退場。

## 第十四場「明日は晴れる」

### M11A「待ち合わせ（BGM）」

照明がつく。ナナ、傘とバッグを持って登場。みゆきも傘と紙袋を持って登場。いづみが出演している大劇場の前で待ち合わせた二人。

ナナ (手を挙げて) みゆき！

みゆき (走ってくる) ああ！ 遅れちゃった！ 間に合う？

ナナ ギリギリ。

みゆき 生徒の発表会が近いんで衣裳の買い出ししてたの。

ナナ 大変ね。

みゆき チケット持つてる？

ナナ ええ。

みゆき いづみ看板に出てる？

ナナ 出てる、出てる、ほら！

二人で大きな劇場看板を見上げて。

みゆき うわー、すごいじゃない、スターね！

ナナ 行きましょ。

M11A終了。二人は一回パネル裏に引っ込み、傘を置き、舞台のプログラム（二人）とオペラグラス（ナナのみ）を手に登場。自分のカウンターチェア（劇場の座席という設定）に座る。【SE】開幕前の客席のざわめきとオーケストラのチューニングの音。

みゆき 久しぶり。ミュージカル見るの。

ナナ 私も。なんだか緊張しちゃう。・・・よかった。

みゆき ん？

ナナ みゆきが元気そうで。子供を教えるんだって？

みゆき (笑顔) 生活かかってんのよ。一人になったから。ナナは？

ナナ また太った。

みゆき ハハハ。本は書き終えたの？

ナナ (微妙な顔) ええ。書き終えたわ。  
すごいじゃない。

ナナ この私が机にかじりついて過ごしたのよ。二百五十枚も書いたの。  
その本はどうしたの？

ナナ 彼に読ませてポロカスこきおろされて大喧嘩して、そのままゴミ箱に捨てておしまい。ひと晩泣いたけど。

みゆき まあ……。

ナナ 仕方ないのよ。彼の方が正しいんだもん。ずっと家にこもってたら、気が滅入っちゃって。とにかく何か行動しなくちゃと思って。今はシャンソンを勉強してるの。

みゆき シャンソンを。

ナナ 勧められたのよ。私の声はシャンソンに向いてるって。勉強してみて分かったんだけど、シャンソンって奥が深いの。ドラマティックよ。そう。

みゆき とにかく、なんにでもチャレンジしようと思って。

ナナ あなたらしいわ。

みゆき ええ。(明るさが消える) いつまでも拒否されてばかりいないわ。きつと何か見つけてみせる。(再び明るい調子になって) みゆきは？ 恋はしないの？

みゆき (笑う)

ナナ しなさいよ。フリーなんだから。あなたももうトシなんだから、あんまり理想を高くしちゃダメよ。

みゆき お互い様。

ナナ いづみを見習うべきだわ。あの人理想が低いわよ！ 誰でも好きになっちゃうんだから……でもそれがあの子の長所なのよ。はあ……。結局あの子だけだ。願いどおりに生きてるのは……。ああ……。舞台に立ちたい。

みゆき 始まるわよ。

## M11B 「ミュージカルのオーヴァーチュア」

華やかなミュージカルのオーヴァーチュア演奏が始まる。拍手をする二人。そして、終演。【SE】大劇場の観客の拍手。二人はいつたんパネル裏へ退場。同時にいづみが登場して、下手のチェアに座る(終演し、自分の楽屋に戻って化粧前に座る)。みゆきとナナがパネル裏から登場。いづみの楽屋を訪れる。

みゆき (楽屋にはいり) いづみ。

三人 キヤ——ッ!!

三人は抱き合って大騒ぎ。久々の再会を喜ぶ。

いづみ

どこで観てたの？

みゆき

真ん中よ。いい席だったわ。

ナナ

ありがとう。

いづみ

じゃあ、登場でつまずいたの分かった？

ナナ

分かった。

三人

キャ————ッ!! (大笑い。抱き合い)

いづみ

ねえ、ご飯食べに行こう。私、いい店知ってた。

みゆき

しばらくね。三人で食事なんて。

いづみ

待ってて。すぐ支度するわ。

いづみいったん退場。みゆきとナナは劇場の外へ。

## M12 「天気之歌」

雨が降り出した。傘を開くナナ。みゆきも傘を開く。いづみが遅れて走ってきて、傘を開く。三人は仲良く歩き出す。

みゆき

関東地方 今夜の雨の確率は

いづみ

百パーセント

ナナ

傘の用意が必要でしょう

みゆき

東京地方 雨のち曇り

いづみ

神奈川県も雨のち曇り

ナナ

千葉県埼玉雨のち曇り

三人

傘の用意が必要でしょう

間奏。美しい照明の下で、傘の踊り。

みゆき

関東地方 明日の雨の確率は

いづみ

ゼロパーセント

ナナ

洗濯びよりになるでしょう

みゆき

東京地方 曇りのち晴れ

いづみ

神奈川県も曇りのち晴れ

ナナ

千葉県埼玉曇りのち晴れ

三人

洗濯びよりなるでしょう

後奏。店に到着。傘をたたんで店に入って行く三人。いったん退場。  
みゆきが傘と荷物をパネル裏に置き、すぐに登場。舞台前に進み、  
晴天の空を見上げて大きく伸びをする。M12終了。

みゆき あー・・・、今日は洗濯しようかな。

### 第十五場 「ゆうべ傷ついても」

ナナ登場。上手チェアーの前にたたずんで。

ナナ みゆき。悪いんだけど、また少し、お金を貸してほしいの。  
みゆき いくら？  
ナナ 出来るだけでいいのよ。ありがとう。必ず返すわ。

ナナはパネル裏に退場。同時にいづみ登場して、下手のチェアーに  
座り、みゆきに声をかける。

いづみ みゆき。ねえ。ナナが今つきあってる人のこと知ってる？  
みゆき いいえ。  
いづみ よくない噂聞いているの。ミュージシャンなんだけど、ばくち好きで、借  
金取りに追い回されてんだって。ナナ何か言っていない？  
みゆき ……いいえ。  
いづみ 心配なのよ。ねえ。ナナの様子見に行ってみよう。

みゆきといづみ、パネル裏に退場。照明変化してナナ登場。オーデ  
イションで着る色とりどりの稽古着を部屋中（舞台）にばらまきな  
がらイライラと歩き回る。みゆきといづみがバッグを手にナナの部  
屋を訪れる。

・・・ナナ。

（二人に気づいて、ちょっとびっくりする）ああ・・・。

ちよつと寄ったのよ。近くに来たから。  
今ダメなのよ。とりこんでるの。これからオーディションに出かけると  
ころなのよ。

オーディション？

そう。大きな仕事なの。ねえ。これとこれ、どっちが似合う？

みゆき  
ナナ

いづみ  
ナナ  
みゆき  
ナナ

ナナは稽古着を両手に持ってみゆきたちに見せる。

そうね。

朝から考え込んでるんだ。何着て行くかどうしても決められないのよ。ねえ。どっちが似合うか決めて。今何時？

1時4分。

もう行くわ。ギャラを稼がなきゃ。今日のオーディションは大事なのよ。その他大勢じゃないの。受ければチャンス到来。敵は数百人だ。ねえ！どっちを着たらいい？ 早く決めてよ！

ナナ。酔ってるのね。

・・・いいえ。ゆうべ少し、飲んだだけよ。・・・あつ。

ナナ、つまずいて床に四つん這いになる。

大丈夫？

(しばらく動かなかったが、起き直って)・・・やめたわ。行くのやめた・・・せつかく二人が来てくれたし。

ナナ。

行った方がいわ。クルマで送ろうか？

いいの。どうせ落ちるんだから。傷つかないだけまし。受かるわけがないのよ。(笑う)これから二人で残念パーティーやろう。

ナナ。

私たちはいいのよ。一緒に行きましょう。

いいんだつたら!!・・・私、緊張すると真っ白になっちゃうの。知ってるでしょ。オーディション向きじゃないのよ。もう、緊張で何日も寝てないのよ。朝まで一人で酒飲んでさ。しらふじゃオーディションに行く勇気さえ持てないんだから。そんなに怖けりやめればいいのになんでやりたいんだろうねえ、舞台なんか！(悔しがる)

ナナ。何かあったの？ 何かあったなら、なんでも話してちょうだい。

何かあった？ 何もかもうまく行かなくてイラついてんのよ！

どうして？ 才能はあるのに。

そう。才能はあるのよ。だからお願いだからあんたのその鈍感さと自信を少し分けてちょうだいよ。そうすりゃ私も大スターだ。

私だって自信なんかないわ。

よく言うわ。期待されてるミュージカル女優が。この間あなたを雑誌で読んでさ、吐きたくなっちゃった。あなたが失敗すりゃいいって心底思ってたわ。

ひどい！ 友達じゃないの！

友達なら、なんでこんなに差をつけるのよ！ あんたのスケジュールが

ナナ  
いづみ

ナナ  
いづみ

みゆき  
ナナ  
いづみ

みゆき  
いづみ  
ナナ

いづみ  
ナナ

みゆき  
ナナ

いづみ  
ナナ

みゆき  
ナナ

みゆき

ナナ

舞台稽古や雑誌の取材でいっぱいなのに、私は毎日一人で酒飲んで震えてるだけなんて、不公平じゃない！  
いづみは、自分の力で舞台の仕事をつかんだのよ。  
そうでしょう。おおかたプロデューサーでもくわえ込んだんでしょ。  
やり方は分かっただけよ。

いづみ

許せない！

ナナ

お互い様よ！

ナナ、いづみを突き飛ばし、喧嘩が始まる。

いづみ

ナナ！（つかみかかる）

ナナ

何よ！（応戦）

いづみ

なんでそんなこと言うの！

ナナ

言われて当然よ！（平手打ち）

いづみ

痛い！ ひどい！ ギャ—— ツ！（取っ組み合い）

みゆき

いづみ！ ナナ！

ナナ

ハラがたつのよ、あなたには！ ムチャクチャ！

いづみ

友達じゃない！ 馬鹿！ 馬鹿！

ナナ

あやまんないよ！

いづみ

ギャ—— ツ！（転げ回る）

みゆき

やめなさい！ 二人とも！

力づくで二人を引き離すみゆき。倒れて泣くいづみとナナ。

みゆき

いづみ。帰りましょう。もう、しばらく会わない方がいいわ。

いづみ、泣きながらうなづき、ゆっくりと立ち上がる。みゆきといづみは玄関（舞台奥）の方へ。

ナナ

・・・帰らないで。お願いだから。一人にしないでちょうだい。うらやましかつたの。あなたの舞台を観て、あなた、思ってたよりずっとよかつたから。・・・うらやましかつた。何もかも・・・いづみ。あなた、大丈夫だわ・・・才能があるわ。私が保証する。

いづみ

私が・・・才能がある？

ナナ

ええ。

いづみはナナのそばへ寄る。手をついて。

いづみ

私は、あなたの才能がうらやましかつた。あなたを見るたびに、私なんかとてもダメだって、そう思ってたの。



ナナ ……そう？  
ええ。私、あなたのように、やれるようになるのが目標だった。今でも、  
目標にしているわ。(ナナの足に取りすがって号泣)  
ナナ ……ありがとう。それで救われたわ。

### M 13 「いつも笑顔で (リプライズ)」

ナナ 明日 目が醒めたら 心に決めよう

いつも笑顔で生きよう

いづみ ゆうべ傷ついても 水に流して

今日は笑顔で生きよう

みゆき うまくいかないことも あるけれど

ナナ 泣きたいだけ泣いたら

いづみ 明日は今日と違う 何かが起こる

三人 ゆうべ傷ついても 水に流して

今日は笑顔で生きよう

今日は笑顔で生きよう

後奏の中で、みゆきのモノローグ。いづみとナナは、舞台上に散らばった稽古着などを片付けて退場。

みゆき たとえ傷ついていても笑顔でステージにのぼること。でも現実では、私  
たちはこの10年、ずいぶん泣いたように思います。

M 13 終了。

### 第十六場 「それぞれの舞台へ」

【SE】子供たちの無邪気な声が聞こえる。子供たちのミュージカル教室で講師をつとめるみゆき。

みゆき ハイ！ それじゃ復習しましょう。今日は新しいステップを三つ覚え  
ました。わたる君、いい？ よそ見しないで、さちこ。じゃ、最後にみん  
なでやってみます！ さん、し！ ワン、ツー、ステップ、ステップ、  
ファイブ、ターン！ ダウン！ ポーズ！ そう！ いいわ。はい、

お疲れ様ー。覚えといてよ。さよならー。

途中からいづみが登場。自分（下手）のカウンターチェアーに座って、みゆきのレッスンを見学。

### M13 A 「舞台に立ちたい1 (BGM)」

いづみ

可愛い。

みゆき

思い出すでしょ。

みゆき、自分（中央）のカウンターチェアーに座る。

いづみ

うん。私も子供が生まれたら教えてもらおうわ。

みゆき

つくりなさい。

いづみ

結婚できたらね。

みゆき

予定はないの？

いづみ

私、結婚生活自信ないのよ。

みゆき

あら。いい奥さんになるかもしれないわ。

いづみ

あなた、時々驚くべきことを言うのね。私がいい奥さんになる？

みゆき

なると思う。

いづみ

ありがとう。じゃあ、考えようかなあ。でも、まだまだ先のような気がするわ。一人で行けるところまで走って行って、ガソリンが切れたら、

みゆき

誰かに拾ってもらおうわ・・・そしたら、幸せをつかめるかな。

いづみ

（少し驚く）あなた、幸せじゃないの、いづみ？

みゆき

今は必死すぎて分からないな。でも、いつかは幸せになりたい。そう

いづみ

思えるまで、走って行こうかな。

みゆき

そうね。幸せな人生だったって、思えるように生きましょう。

いづみ

ナナ登場して自分（上手）のカウンターチェアーに座る。

みゆき

次の「ねえ！」でM13 Aカットアウト。

いづみ

ねえ！ 女って本当に素晴らしい生き物ね！ 自分の夢を託して、新しい命を生み出せるんだもの。ね、聞いて。かつこいいと思わない？（両

みゆき

手でおなかを抱えて）この子、アメリカ生まれになるのよ！

いづみ

ナナがアメリカに行ったんですって!?

みゆき

手紙が届いたのよ。

いづみ

ロスにアパート借りたのよ。おつかいの帰りに寄れる距離じゃないけど、

みゆき

寂しくなったら、メールするわ！

いづみ

手紙には、住所も書いてないの。

みゆき

寂しくなったら、メールするわ！

いづみ

手紙には、住所も書いてないの。

みゆき

寂しくなったら、メールするわ！

いづみ

手紙には、住所も書いてないの。

いづみ  
みゆき  
いづみ  
みゆき

ナナの彼、会社のお金を使い込んで雲隠れしちゃったんですって！  
その人と一緒なのよ。  
そんな人を追いかけて？ どうして？  
おなかの中に、彼の子供がいるのよ。

### M13B 「舞台に立ちたい2」(BGM)

ナナ

ごめんね。なにしろ急に決まっちゃったのよ。(笑顔をj見せて)きつと、  
当分帰れないわ。

みゆき

ナナ。あなたには本当にいつも驚かされる。なんでも予告なしにやって  
しまうんだもの。

ナナ

予想は私にもつかないのよ、みゆき。・・・本当に、予想のつかないこ  
とばかり。

いづみ

(泣き顔で)せめて空港まで送りに行きたかったわ。

ナナ

(一生懸命の笑顔でうなづく)

みゆき

ナナ。負けないでね。何があっても。

ナナ

ええ。だって、この子がいるもの。(おなかに手を置く)

いづみ

何か月？

ナナ

8か月。

いづみ

んまあー、驚いた。おなかの大きなナナなんて想像出来ないわ。

ナナ

アハハ。私も驚いた。昔、三人で賭けをしたの覚えてる？ 一番早く子

供を産むのは誰だろうって。覚えてない？

少なくとも私じゃなかったでしょう。

みんなみゆきだって言ったの。

そうだったけ？

私が一番だったわ。

どんな感じ？

神様がくれた、贈り物よ。私、いつもこの子とおしゃべりしてるの。パ

パとおしゃべりしてるいづみの気持ちがあかったわ。私、この子にいろ

んなことを教えてもらっているの。頭のいい利口な子なのよ。親は馬鹿

だけど・・・(苦笑い。そして真剣な顔になつて)。私、何があつても、

この子だけは絶対手放さないわ。誰よりも愛してあげるんだ。誰よりも。

楽しみね。どっちかしら？

女の子よ。だから、バレエを習わせるわ。

踊らせるの？

ナナ

もちろん！ だって、私がこの子に教えてあげられることって、踊る喜

みゆき

びだけだもん。

いづみ

ナナに似たら、美しい踊り手になるわ。

みゆき

そりゃもう間違いなく。

ナナ  
いづみ  
みゆき

思い出すわね。三人でレッスンに明け暮れた頃。初めて会ったのは、稽古場の更衣室。

そう。私が更衣室にはいると、この人（いづみ）が床に這いつくばってるの。何してるのって聞いたら「コンタクトレンズを落としちゃった。」その時この人（ナナ）がはいってきて、コンタクトレンズを踏んづけたのよ。

ナナ

アハハ。その時のいづみの顔を思い出した。あなた、ずいぶんきれいになったわ。

いづみ

ねえ。あの頃のみゆきって怖くなかった？ いつも怒ったような顔をしててさ、なんとか笑わそうとするんだけど、全然笑わないの。

みゆき

つっぱっていたのよ。稽古場であなたたちを紹介された時、私、絶対に負けられないって思ったんだから。負けちゃいけない、この二人にはつて。

いづみ

私は、この二人について行こうって思ったわ。

ナナ

うん。とつてもいい予感がしたな。二人と出会って、きつとこれから、いいことが起こるって、そう思った。

いづみ

（申し訳なさそうに）いいことが、起こった？

ナナ

もちろんよ。だって！ 私、あなたたち二人と舞台をやっていた時が、一番幸せな時だったもの。本当に、一番幸せな時だった。私、もし二人に会っていないければ、この子に話してあげられる思い出を、こんなに沢山持っていなかったと思うもの。（涙声になる）私、二人にお礼が言いたいよ。ありがとう。

みゆき

いづみ

うえーん、そんなこと言わないですよー。また三人で一緒にやって行こうよー。

ナナ

いいえ。元へは戻れないわ。バックのギアはついてない。次の舞台を目指すの。私たちの、次の舞台を。たとえ、目立たなくても、自分が自分らしく輝ける場所を。

みゆき

ナナ

いづみ

そのうち、この子が産まれたら・・・この子が・・・う——っ!! どうしたの!?

ナナ

産まれる——っ!!

みゆきといづみ

ギャ——ッ!!

突然産気づくナナ。M13Bカットアウト。

ナナ

産まれる!! ああ！ ああ！ 産まれちゃう！

いづみ

ナナ！ しっかりして！ あんた、待ってよ！ ここで産む気!?

ナナ

ああ！ う、産まれそうよ！ う——っ!!

いづみ

きゃ——っ!! みゆき、どーしたらいいの!?

みゆき

知らないわよ、私、産んだことないもん！

ナナ

産まれる！ 産まれる！ みゆき・・・みゆき！

みゆき

はい、はい。ここにいるわよ！ どうしてあんたそう急に産むのよ！

ナナ

産まれたがっているのよ！ あんたたち二人の顔が見たいって言うてるの。いつも話してあげてるから！

みゆき

その子に言っ！ まだ早い！ あと二か月はいつてなさいって！

ナナ

人間落ち着きが肝心だっ！ 話してあげて！

いづみ

ああ、ああ、話してみるわ・・・はあ・・・はあ・・・はあ・・・はあ。

ナナ

・・・どう？

ナナ

(うなづいて) ああ・・・大丈夫・・・今、説得した・・・二か月待つって言うてる。

みゆき

(安心して) はあー、いい子ね。

ナナ

産まれて来たら、二人に絵葉書、書くって言うてる。

いづみ

私も早く会いたいわって伝えて！

ナナ

ええ！

みゆき

これがナナから届いた、最後の手紙でした。

### M13C 「友情 (BGM)」

みゆき

いつか子供を連れて帰って来たら、また三人で会えるといいわね。その時はいつたい、私たちどんな風に変わっているかしら。私ね、日本を発つ前に部屋の整理をしてたら、子供の頃にもらったオルゴールが出て来たの。もうすっかり忘れていたんだけど、それを見て驚いたわ。三人の踊り子が輪になって踊るオルゴールだったの。20年ぶりに動かしてみたわ。白いドレスを着て踊っているのがみゆき。赤いドレスはいづみ。緑のドレスで、ちよつと傾いているのが私。私の緑のは、時々、ひっかかって、止まってしまうの。(泣き笑い)

みゆき

しっかりね。しっかりね、ナナ。あなたはこれから幸せにならなきゃダメ。もし、何か困ったことがあったら、いつでも呼んでちょうだい。私、すぐに飛んで行くから！

いづみ

私も！

ナナ

ありがとう。いい友達だ。また、会いましょう。

みゆき

また、会いましょう。

いづみ

ちよつと待って！ また会えるようにおまじない！

みゆきとナナ、笑顔でうなづいて。

みゆき

舞台の神様に！

三人、投げキス。音楽はM14へ。

#### M14 「舞台に立ちたい (フィナーレ)」

いづみ  
みゆき  
ナナ  
三人  
いつの間にか 決めていた  
これだけを 追いかけてた  
なぜかしら 知らないけど  
私の心の夢

みゆき  
いづみ  
ナナ  
三人  
いつの日にか 分かるでしょう  
輝く光の中  
本当の私がいる  
ずっとずっと夢見てた

三人  
「夢見た日は去りゆくとも  
ただひたすら求めた日々  
それだけを願ってた  
私の夢 舞台に立ちたい  
それだけを願ってた  
私の夢 舞台に立ちたい

三人は笑顔で、それぞれの未来を思う。音楽、高鳴り、照明、溶暗。

### 終 演

#### M15 「カーテンコール／寝ても醒めても」

みゆき  
舞台が好き  
すべてが好き  
寝ても醒めても

いづみ  
楽屋のドア  
幕のかげで

聞いてるメロディー

ナナ

高鳴る胸  
震える足  
それでも分かる

三人

そこが私の生きる場所と  
愛していると

リズム・イン。音楽、軽快なテンポに。

みゆき

幕を上げるオーヴァーチュア―

三人

さあ始まる

いづみ

みんな並んで 発声練習

三人

アアアア アアアア アアアアア

アアアア アアアア アアアアア

ナナ

転換の早替わり

いづみ

歯が痛いのも忘れる

三人

寝ても醒めても夢見る

舞台が好きよ

ナナ

今日のデキはどうだった？

いづみ

忘れちゃった。

みゆき

あなたはうまくいった？

ナナ

お客さんに聞いて。

みゆき

歌もダンスもまだまだ

ナナ

ライバルは沢山

三人

寝ても醒めても夢見る

舞台が好きよ

みゆき

最後を飾るのは

いづみ

豪華な

三人

ファイナーレ

三人

寝ても醒めても夢見る

舞台が好きよ

寝ても醒めても夢見る

舞台が  
舞台が  
舞台が  
好きよ

M 15 終了。三人は無音で、手を繋いで観客に挨拶。顔を上げたところで M 15 A スタート。三人は観客に手を振りながら退場。

※ダブルキャスト以上での公演の場合は、明日（次）の回のキャストが曲終了時にチェアに座っていて、紹介される。

みゆき

※明日（次の回）は、この三人が演じます！

## M 15 A 「退場音楽」

※次の回の三人は前に出て、それぞれのポーズ。今回のキャストが手を引っ張って次回キャストを退場させ、最後に観客に手を振り、退場。空舞台となり、客電がつく。

終  
演